



日日進歩

会報文中の [番号] は、会員番号を示します。
Hong Kong Public Transport Tourism Association ©

年次総会 (と称した飲み会) 開催

今回レポートさせていただきますのは、第3回の総会に参加して以来総会は永らく欠席しておりました増元です。はい、初PULSEでした。今回の総会のキーワードは「狂ってる！」(笑) 2月2日開催。 [021] 増元 忍

総勢 16名の参加者。19時半までには全員が揃い、[033]渡部さんの司会進行で始まりました。初めてとは思えない、堂々たる司会ぶり。乾杯に続いて予定外の会長ご挨拶があり、会計報告。支出が少なく、残高が溜まってきたとのこと。残高を生かして、会員が撮影した香港百景のようなポストカード集を作ろう、Tシャツを作ろう等というアイデアが提案されました。そしてお待ちかねのクイズタイム。今回も田村ご夫妻の作成。なんと一晩で仕上げたとの事！

そうとは思えない秀逸さで、みんなを楽しませてくれました。答える側も青田さんをして「狂ってる！」と言わしめるほどの名答即答ぶり。逆に一般人でも答えられそうな問題「略称HKPTAを略さずに英語で言うと？」に沈黙や迷答が。因みにこちらの正解は、

Hong Kong Public Transport Tourism Association.

ここでなぜか馬利奥さんこと関根さん用の特別問題が行方不明に。最後まで答えずに我慢してらした馬利奥さんの為に、次回こそ特別問題が出題されることに決定！



最後にその馬利奥さんが、自著の読者から届いたという貴重なお手紙を披露してくださいました。在米日本人のパイロットの方からで、私たちと同じく、もしくはそれ以上に啓徳機場への想いが詰まっているお手紙でした。小松崎さんからその方を主賓にした総会とはまた違うパーティーを開いてはどうかという提案もありました。

5年ぶりの参加で、しかも1人でしたのでちょっと緊張(?)していましたが、好きな明星(杜德偉)と「目が似ているのでは？」と云ってくださったり、優しいどころかサービス精神旺盛でまさに香港な皆様に囲まれ、感謝感謝の楽しい一夜でした。

香港入境回数 カウント 開始!

[001] 小柳 淳

2月2日のHKPTA総会&パーティの席上、香港政府観光局情報として2010年の香港への渡航者数を知りました。全世界から3,603万人、そして日本から131万6,618人(対前年+9.3%)だったそうです。この数字を聞いて約30名のHKPTA会員は日本人渡航者の内どれだけを占めるか?が話題になりました。仮に1人平均3回訪港していたとすると、 $30 \times 3 = 90$ 回ですよね。 $90 \div 132$ 万人 = 0.0068%。「うーん、統計的にはゼロかな」という思いと、意外や意外強者揃いの会員だからもっと多いかもしれない、との思いが(ちょっとお酒も入った頭に)錯綜し、なんと2011年は会員の訪港回数をすべてカウントしようということになりました。

カウントルールは「香港入境回数を数える」です。空港や港、そして陸路でイミグレーションを通過した数を「1回」と数えます。日本から飛行機で香港を往復したら、1回です。これは判りやすい例。香港滞在中に深圳に行ってきたら、帰路に羅湖や落馬洲で香港入境をするので、2回。この際、3泊4日の香港の旅の間に2回深圳日帰りをすると、合計香港入境数は3回となります。マカオ往復も同様に2回になりますが、帰路に香港空港で入境せずにフェリーから飛行機に乗継いだ場合は香港入境無しですから、その旅では香港入境は1回となります。

日本 → 香港 → 日本 [1回]

日本 → 香港 → 深圳 → 香港 → 日本 [2回]

日本 → 香港 → マカオ → 香港 → 日本
[2回、ただしマカオ帰路フェリーから飛行機に乗り継ぐと1回]

もう、みなさんルールは判りましたね。香港旅行から帰国したら入境回数を [001]小柳までお知らせ下さい。

もちろん、いままでどおり出発前に連絡いただければHKPTAサイトの会員専用ページにアップします(こちらは任意)。会員専用ページを見て、香港滞在が重なる会員を発見して夕食の友を得ることも、「買い出し」依頼をすることもできます。



今回、小柳会長より協会ウェブサイトについてアンケートを同封しています。回答やご意見は会長に直接どうぞ。協力をよろしくお願いします。

男が乗ったアムステルダムからの飛行機は早朝、香港国際機場に。インド人ばかりが目立つ入管をなんとか抜け、機場快線で九龍へ。ここから周囲の行儀の悪さが目に付く。並ばず、かつ他人のことなどお構いなし。鄧小平の「先富論」=豊かになれる人から豊かになればいい=この一言が、より一層、漢民族を傍若無人にさせたという説もある。あながち間違っただろう。しかし何度もこの地に足を運んでいるのに、なぜ今回だけ気に障るのか。男はそこで気がついた。欧州からの帰路だったことを。

男女を問わず「どうぞお先に」は当たり前。ウイーンでは、一抱えもある大きな乳母車に赤子2人を乗せ、路面電車の停車場で待つ女性が一人。そこに乗降口に段差がある車両が来る。乗れるのかと思いきや、頼まれるでもなく男性陣が争って手を貸している。そんな成熟社会からの帰りだから余計、香港の今が気になったのだ。

「日本から来た時には感じないということは、我々社会も...」。苦笑いをしつつ予約した尖沙咀の麗景酒店(パノラマ・パイ・ロンパス)に向かう。しかしここで大失敗をする。

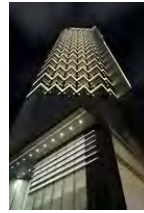
東京で得た一言、「背が高い建物」で早とちり。着いたところは同じ高層ながら、その名は「凱悦(ハイアット・リージェンシー)」。呆然とする男の前に、その酒店の制服を身に着けた女性がたまたま通りかかる。道を尋ねると、しばし大きな瞳を宙に泳がせた後「I'll take you...」。道路一つ隔てた麗景酒店まで男を導いてくれた。



ウイーン市内を走る路面電車



凱悦です



麗景です

それから8ヵ月後の師走。男は再び香港の地に。ホテルは凱悦。チェックインの時はもちろん、出入りのたびにさりげなくフロントを垣間見る。しかしアングロサクソンと漢人のハーフと思われる、整った顔を目にすることはついぞなかった。

會員簡介

昨夏の昭和女子大公開講座「香港」で、講師の小柳会長に参加者から質問が。当時参加した [004]によると「質問が『香港の中で面白いお墓の風景にはどんなところがありますか?』。お墓ですよ、お墓。そしたら、講師さまは、(中略)とすらすら回答。聞く方も聞く方だが答える方も答える方だと呆れました。」というようなやりとだったか。その聞く方も聞く方が入会されました。ちなみに下記「インファナルアフェア」の日本語訳も、赤澤さんの手によるものです。

昭和女子大のオープンカレッジで会長にお墓の質問をしたのは私です。映画「インファナルアフェア」と出会って香港にはまりました。その出会いはまったくの偶然でした。上環の古楽道の古道具屋で、なんと知らないタイトルで観たかった映画だと思って値段を聞いたら10ドルだということでDVDを即買いしました。それを観て以来、香港と広東語のことを調べる日々が始まりました。とにかく台詞がいちいち格好よくて、ぜひご紹介したいのが、インファナルアフェアの最初の沙田・萬佛寺における韓琛の演説です。

赤澤章弘

あかざわ
あきひろ
[032]



トニー・レオンが大好き！
というわけではないですが、
陳永仁派です。今後ともよろしく
お願いいたします。
写真は萬佛寺で佛祖保佑と祈
っているところです。

「五年前、屯門大興邨、皇宮大酒樓門口、個檔泊車檔、開張大吉。我同埋成班兄弟雄心壯志。點知開張唔夠半個月、平均每日俾人掃檔一點三次、一年內、死咗六個兄弟。佛祖保佑。我呢條命叫做「一將功成萬骨枯」。不過我唔同意。我認為我哋出嚟行嘅。係生係死應該由自己決定。你哋跟我日子最短、身家最清白、條路就行就由你哋自己決定。好喇，祝你哋係警察部一帆風順。飲杯喇，咁多位阿Sir。」
お前たちは俺に従って日も浅い。犯罪歴もない。どのように行くかは自分で決める。
お前たちの警察での活躍を祝して、飲杯、警察官諸君！

森山さん [023]が写真展を開きました。

お邪魔したのは [002]



香港での話です。銅鑼湾にある「香港日本人倶楽部」松の間に、一日限りのイベント「香港ミニチュア写真展」が開催されました。室内は森山さんが撮り続ける香港の魅力がいっぱい。撮影した画像を加工してミニチュア模型風に仕上げられた写真の数々にしばし感動のひとつときでした。日本でもぜひ開催してほしい！ご本人もとてもお元気そうでした。



後記

(例) 会長、香港入境「1回」でーす。
[002]..... というようにカウントしてもらいましよう。
余震停電原発ありますが、希望大家平安。